



佐々木 崇 名誉院長  
(国民健康保険 葛巻病院)

地域の大きな宝に！

病院の役割は、整った療養環境と健康増進のための交流の場の提供と考えます。いま、健康寿命の大切さがうたわれ世の中の大きなテーマとなっており、新病院が病気に対する理解を深め健康の増進・維持のための勉強会や実技研修ができる場になることを期待します。多くの皆さまのご努力で実現できたこの病院が、地域の大きな宝として育つように、職員一丸となって誠心誠意努力していきます。町民の皆さまも「わが病院」として、一緒に育てていただきますようお願いいたします。



小山 朋子さん  
(31歳・田子)  
大晴くん(2歳)Ⓜ、陽大くん(6歳)Ⓜ

**Q新しい病院はどうですか？**  
明るい雰囲気がありますね。小さい子どもがいるので、急な発熱など突発的に受診しなければならないことがあり、近くに病院があるというのが安心できます。  
**Qこれからの葛巻病院に期待することは？**  
小児科の診療日数が増えたり、町内で流行している感染症のお知らせをくずまきテレビなどと連携して情報提供があれば、より子育てしやすい環境になると思います。



久保 トキさん  
(83歳・茶屋場)

**Q院内を内覧してみてどうでしたか？**  
とにかくすごいですね。広くてどっちに行ったらいいかわからないくらいでした。  
**Q町民開放スペースは、どうでしたか？**  
ほかの病院にはない足湯やホールがあって、病院ではなくホテルみたいですね。足湯があるのはありがたい。ぜひ入ってみたいですね。



内覧会で職員の説明を受ける住民の皆さん (8月27日の様子)



祝賀会で 葛巻神楽を披露する葛巻高校郷土芸能部の皆さん



落成式であいさつする鈴木町長



オープニングでナニヤドヤラを披露する町職員有志

9月1日開院

# 町民に親しまれる病院を目指して 新国保葛巻病院が開院

## 国保葛巻病院開院 期待高まる落成式

9月1日に開院した新築の国民健康保険葛巻病院の落成式は8月26日、新病院の活いきホール(多目的ホール)で関係者約100人が出席して行われました。オープニングセレモニーでは、町職員有志らによるナニヤドヤラ(盆踊り)が披露され、力強い太鼓の音が響き渡りました。その後、関係者らによるテープカットが行われ新病院の扉が開かれました。

活いきホールで行われた落成式で鈴木重男町長は「町民に親しまれる病院をコンセプトに「安心の医療サービスの提供」「安らぎとくつろぎのある空間づくり」「町民が誇れる病院」の3つの視点で整備を進めてきました。新病院が地域の皆さまにとって親しまれる病院となるよう、医療の充実とサービスの向上になお一層取り組んでいきます。引き続きご支援とご協力をお願いします」と式辞。続いて、觸澤義美副町長が建設事業の概要を説明し、達増拓也県知事、鈴木俊一東京オリンピックピック・パラリンピック大臣らから祝辞が述べられました。

式典の後には「町民とともに大きく育つことを願って」と題して、佐々木崇名誉院長による講話が行われました。

## 思いをつながら たくさんのお礼

新病院には、当町出身で漆芸家の勝正弘さん(埼玉県在住)から院内に展示されている漆絵のほか、葛巻医歯会からピアノとテレビ、「どんと来い!岩手」で知られている歌手の秋本清さん、絢子さん夫妻(埼玉県在住)から車いす10台、遠藤茂さん(盛岡市在住)から祝い金20万円、町社会福祉協議会から車いす12台、二戸町の遊技業(株)アキヤマ(秋山照明社長)からオープニングのナニヤドヤラで使用したかつぎ桶太鼓30張りを寄贈いただきました。